

事業所名 リハビリテーション颯せと 運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和4年9月（新型コロナウイルス拡大防止のため書面にて回覧）	
参加者	議題
利用者 0名	〈運営状況〉 ・デイサービス/介護度別年間利用者数一覧 ・当月利用状況(2022年8月度) 〈リハビリテーション颯せとの取り組み〉 1) ペグを使った姿勢保持訓練 2) 二重課題を使った体操
利用者家族 0名	
地域住民の代表者 2名	
市職員 1名	
地域包括支援センター職員 0名	
事業所 5名	
会 議 録	
<p>1. 運営状況 2022年8月末時点での登録者数 98名、1単位当たりの平均利用人数 12.2人、直近8月は22日営業日、延べ利用者数536名の方にご利用いただきました。</p> <p>2. リハビリテーション颯せとの取り組み 1) ペグを使った姿勢保持訓練 円背の強い利用者様や姿勢の悪い利用者様、長く立っていることが難しい利用者様にペグを使った姿勢保持訓練を実施しています。実施時間は1回10～15分で、図形や図柄を作ります。特に女性は、ご自宅で家事を行う際、長時間同じ姿勢で作業することが多く「家事が疲れる、長く続かない」といったお声を聞くことがあります。ただ背筋を伸ばして立つだけよりも、目的を持って行った方が意欲的に取り組むことができます。自分なりに図柄を考えたり、配色を工夫される方など、姿勢保持以外にも頭を使う作業・練習として取り組まれる方もいます。</p> <p style="padding-left: 2em;">2) 二重課題を使った体操（旗揚げ×足踏み体操） 利用者様全員を対象に、1回3～5分の足踏み運動を行います。身体機能の高い方は立って足踏みします。利用者様の両手には「赤・青・黄・緑」のリングをつけて、前方のスタッフが出すフリップの色と同じ色のリングがついてる手を挙げるという課題を足踏みを行いながら実施します。「足踏みを続ける」「色を確認して手を挙げる」という2つの課題を同時に行うことで注意機能という脳機能を刺激します。全員で一体となり「1・2・1・2」と声かけしながら楽しく運動を行います。</p> <p>3. ご意見・質問照会 質問1. 取り組み全般について利用者の方の身体機能がコロナ禍により変化したと感じる事がありますか。また、コロナ禍での機能訓練等について工夫されていることはありますか。 ↓ 現在は外出の規制もかなり緩くなり、利用者様の屋外での活動も戻りつつありますが、感染流行当初は活動制限が強かったため、自宅にこもりがちで筋力や体力の低下、意欲の低下がみられる方は多くいました。 訓練は個別行う種目を多くし、物品を共有する際には使用後に消毒がしやすい素材を用いるなど感染対策の工夫を行いました。</p>	
【次回：令和5年3月頃開催予定】	